



# 2011. 8

## 社会福祉法人新生会

おじしき要覧 第9号/ほつすてつ8号



今回の表紙の写真は7月18日「海の日」の保護者会交流事業のものです。皆さん笑顔で楽しんでる様子が伝わるとおもいます。

海の日とは、私たちの住む日本という国の周囲を囲んでいる海の恩恵に預かり、今日の発展があり、恩恵を与えてくれた海の恩恵に感謝し、日本の更なる繁栄を願う日だそうです。

交流会のときも、ホタテやイカ等の海産物が振舞われました。こういった美味しい食材にありつけたのも海のおかげですね。

さらに、その日はさくらんぼ狩りでサクランボをたらふく食べてきました。

海に感謝、山に感謝、自然に感謝です！！

保護者会交流事業

暑寒別岳を眺めて昼食会

7月18日「海の日」、多少雲のある天気でしたが、心配された雨もなく無事、第5回目となります。保護者会交流事業が開催されました。

例年であれば海を見ながらの昼食会と題して、更生園前で利用者、職員、保護者の方々とバーベキュー等を行っていましたが、今年度は更生園の耐震化・スプリンクラーの整備と個室化等の改修工事を行っている関係で車両の往来が多く前庭での開催は無理と判断し保護者会総会で場所を変え増毛町での開催決定となりました。

当日は、総勢210名程となり、貸切バス3台、自園のマイクロバスはじめ公用車を大半

使つての久しぶりの大移動となりました。

増毛町での開催ということもあり、内容は保護者役員の方々が定期的にサクランボの最盛期のことでサクランボ狩りも盛り込んでくれた企画となりました。

利用者の皆さんは大変楽しみにしており、広大な果樹園の中の食べごろの美味しいサクランボを探して、ほおぼっていました。



高山君 そうきましたか

続いてはバーサイドパークへ



暑(熱)かった!



移動してのバーベキュー。お肉に焼きそば、ホタテにイカと豊富な食材が用意されていました。焼きあがった料理には、行列が出来るほど込み合い、テントの中で焼いているお父さんたちは焼けども焼けども一向に間に合わず、飲んだビールは暑さの

中で瞬時に蒸発していくような状況でしたが、皆様お酒を飲み、美味しい料理を食べながら、保護者同士の親睦や、職員と交流を図ることそして皆さんにおいては親子で楽しめる良い場面となったのではないかと思います。

最後に企画運営を行ってくださった保護者役員の方、とりわけ白幡お父さんには農園・会場等の手配から交渉、準備まで本当にお世話になりましたことを感謝いたします。来年もお父さん、お母さんたちと愉しく過ごせるこの交流会を是非企画して下さい。(野原)



美味しかったですか～

(野原)

ケアホーム「ゆらら」

今年4月におにしか更生園より巣立ち、新たに4名がケアホーム「ゆらら」に移り、地域生活者の仲間入りを致しました。メンバーは佐藤雄治さん、橋本宗幸さん、山根孝義さん、矢澤方浩さんの個性豊かな楽しい面々です。



ハッピーバースデー宗幸さん

歩くだけです、皆さんの個性を見るひとコマです。

また、生活場面に置いては、世話人さんとのやり取りを楽し

今から遡ること七年、地域生活に向け自活訓練事業等を活用しながら街の生活にゆつくりと馴染みながら成長してきました。例えば、学園からC日までの通勤です。仲間と共に終点まで安全に歩行する練習です。

一人は単独でどんどん行ってしまう人、お互いをサポートして歩く人、のんびりと後の方で歩行する人と様々な風景が目に留まります。たった一本の道を

みながら、地域での生活の仕方を覚えていきました。少々時間はかかりましたが様々な練習を経て更生園から共同生活介護・共同生活援助事業所「あとり」にパトントタッチし、毎日元気に更生園へ通勤しています。

(岩村)

ケアホーム「うみ」

同じく、今年4月にスタートしたケアホーム「うみ」を紹介いたします。場所は更生園のすぐ下にある町営住宅をケアホームにしたもので通勤するにはとても便利な所にあります。

メンバーは、もえぎ寮で生活されていた、川森さん、垂柳(昌)さん、小笠原さん、菅野さんの4名です。世話人さんも新たに地元のお母さん2人が4人と一緒に手探りの状態で今は共に生活をしてきています。

地域生活に向け、以前より準備を進めてきましたが、あつという間に日々が過ぎ、利用者共々不安の中でのスタートとなりました。生活をしながら足りないものの買いたしや、地域での日課の組立て、休日の過ごし方

などと様々な問題や課題が実際始めると上がってきましたが、「あとり」の地域担当や世話人とそして本人さん達と話しながら進めています。当初ケアホームでの生活を不安がり施設が良いと言っていた方もすっかり「うみ」での生活にも慣れて楽しく生活している様子が伺えています。

(千代谷)



おしとやかに見えます?

## 道北ソフトボール大会

6月17日(金)、鷹栖町の球場で道北ソフトボール大会が開催されました。



熱いナイスプレー

当日は暑すぎる程の晴天でしたが、その暑さにも負けなくらい、皆さんの闘志も熱く燃えていました。

今年も強いチームの集まるスターリーグと言う事で苦戦を強いられましたが、一回戦は昨年2回戦で敗れた幌延北星園に3対1で勝利を収めリベンジを果た

## 自治会パークゴルフ大会

ほつぶすてつ自治会パークゴルフ大会が前庭のパークゴルフ場を会場に7月9日(土)開催されました。



一打集中!! カップイン

霧雨の中での大会となりましたが、留萌・鬼鹿の利用者さんが一堂に会し行う自治会主催の大きな行事でもあり、皆さんとても楽しみにしていたようです。ただし、バス時間の関係から全員が集まって開会式そして一斉にスタートとはなりませんでしたが4名づつ、8チームが順

次スタートして行きました。霧雨の中、9ホールを終えたころには草露で靴もぐちゃぐちゃになっていましたが、終了時の表情は久しぶりに会って交流した為かとてもにこやかな面持ちでした。

無ともるもす練習まりはほう績の成  
なともるもす練習まりはほう績の成

## 被災地派遣報告

はじめに東日本大震災の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

4月28日から5月5日の8日間(うち実働5日間)、岩手県山田町にある「はまなす学園」に北海道福祉協会からの災害派遣員として行かせて頂きました。

連日、テレビ等で目にする風景を直接目にもなぜか写真やテレビを見ている感覚があり、行き交う車両は、自衛隊や警察、



津波に襲われた山田町

想され、言葉が出ないとはまさしくこの事なのだと思います。被災により、完全大破、施設としての機能を失っており、職員、利用者、は全員無事に避難できたのですが、避難所の一般の方との生活も困難な為使用していなかった古いホテルを仮の住まいとして生活を送っていました。



施設正面

私達が現地に入った時は既にライフラインは回復していませんが、飲料水以外の水は外にある唯一の水道から汲んでくる状態でした。その様な状況にお

ても現地利利用者、職員の方々はとても明るく、元気に生活しており、逆にこちらが勇気づけられる思いでした。

しかし、一歩外へ出たら、瓦礫の街、毎日襲ってくる余震。私達には始まりと終わりがありません。だからこそ最後まで集中して責務を全うできたのであり、被災された方々は突然全てを失い、先の見えない不自由な生活、ゼロではないマイナスからのスタート。計り知れない不安を抱えての生活だと思えます。

私達は派遣期間を終え、今日、明日になに不自由な生活に戻っています。今、被災地をテレビで見ると生活をしていて写し出されている場所に居たのが嘘だったかの様な・・・どんなに被災地の方を思っても、復興の支援をしても結局は当事者ではなく、実際私達がどれだけの事

が出来たのかわかりません。しかし、それはきっと街の復興、そして心の復興がいつか被災された方々の笑顔を見ることができて初めて自分達のできた事の意味を知ることが出来るのかもしれない。

私達は被災地に行かせて頂いた中で見たもの、経験したこと、をどう今後の暮らし(地域・施設等)に活かしていくかを考えることが大切な事だと考えます。おわりに、このような貴重な経験をさせて頂いた法人並びに関係各位、そして一緒に行った仲間、心から感謝したいと思います。



咲く桜に希望を...

## 新任職員紹介

今年、7名の方々が更生園の職員として仲間入りしましたので紹介します。



加我 千夏 (小平町出身)

おにしか更生園の支援員として毎日笑顔が欠かさず、利用者さんにも毎日が楽しいと思ってもらえる様に、いつでも相手の気持ちを考えて支援していきたいです。これから一生懸命頑張りたいと思います。



## ◆転勤しました◆



「ほつぷすてっぴ」に勤務してました高橋 さやかさんが、4月1日付で「テイセンター美瑛すずらん」へ異動いたしました。

平成16年5月に入職し、活動班(食肉加工)を担当してきましたが、持ち前のゆったり、のんびりした優しさで皆さんから「サーヤン」と呼ばれ親しまれ、いつも傍には利用者の方が居る職員でした。

美瑛に行っても、持ち前の優しさで皆に親しまれる職員になると思います。

新天地でもガンバ!



湯岡 範昭 (島牧村出身)

利用者の方々の気持ちと思いやりを常に持ち、利用者の方が健康と笑顔を絶やさず、日々生活できる環境にする為にはどうすれば良いか考え行動していきたいです。



番場 優作 (土別市出身)

まだまだ未熟者で、毎日失敗ばかりで、迷惑をかけていますが、信頼される支援員を目指し、一生懸命頑張っていくので、よろしく願っています。

## 現場実習を終えて

この2週間おにしか更生園で実習させて頂いて、様々な利用者さんと関わる事が出来た。実習前は知的障がいを持つ方とは上手くコミュニケーションがとれないのではないかとという不安がありました。実際に関わってみると、言葉が使えなくても身振り手振りを交えて会話をすることが出来たり、日々の様子を見てみると解ってくる事が多く、コミュニケーションは、言葉だけでは



お花どうぞ... ありがとう!



佐藤 唯 (旭川市出身)

おにしか更生園に就職し、まだ不十分なところもたくさんありますが、誰にでも信頼される支援員になりたいと思います。精一杯頑張っていくので、よろしく願っています。



佐藤 久恵 (留萌市出身)

施設での業務内容は、私が今まで栄養士として行っていた仕事内容とは異なる部分が多く、試行錯誤の日々ではありますが、利用者さんの体調管理と嗜好に副った食事提供が出来るよう努めたいと思っています。



仲良し3世代

んが伝えたかった時はとても嬉しく、心が通じあった様な気持ちになりました。私はこの実習で学んだ、相手の立場に立って気持ちを理解しようとする大切さを種にしていきたいです。

旭川女子短期大学

大谷 綾

初め利用者さんに話しかける事が難しく、話し掛けて来てくれる利用者さんと話す事が多かったのですが、私が話し掛ける事で近づいて来てくれたり、笑ってくれる利用者さんがいる

昨年より、職場実習として働いていたこの方々も、今年度より、更生園の職員(介助員)として働いています。



上梨 友子 (羽幌町出身)

職員になって初めて、8時間勤務で早番と日勤をしました。利用者さんの介助や掃除は大変だけど、仕事を頑張りたいと思います。



村館 えりか (増毛町出身)

職員になって、8時間労働で勤務時間が長くなったけど、色々な仕事を頑張りたいです。



長尾さん 私と遊んで♪

らせて頂きました。また、講話でケアホームを訪ねたり、施設について話を聞かせて頂いたり、様々な体験が出来ました。施設での雰囲気も明るく、職員さんもお優しいので、楽しく実習を終える事が出来ました。

旭川女子短期大学

尾美 早矢

平成23年度  
**新生会職員研修会**

7月19・20日と初山別にて開催された法人の職員研修会に参加を致しました。

初日は、道立羽幌病院管理栄養士の方より、「病態別の食事の重要性」林常務理事からは「新生会の歩み」についてと二本の講話を聞かせて貰いました。特に林常務の講話は、新生会の歩みを裏話も含め、判り易く説明してくれ、初代新谷市造理事長が障がい者福祉が未整備な時代に将来を見据え、施設を開設したこと等深く感銘を受けました。研修終了後は、交流会があり、多く法人職員と歓談し、皆それぞれが利用者の方々へ対する強

い意志や思いがあることに圧倒され、自分の気持ちを引き締められる思いでした。熱い話で盛り上がる中で、いつ床に就いたのかも分らず、気がつくとも朝を迎えていました。

2日目は、スポーツ交流でパークゴルフを行い、雑談などを交わしながら、楽しいひと時を過ごさせて貰いました。

2日間の研修を通し感じたことは、人と人の出会い、同じ志を持つ法人間の職員との交流の場がもつとあって、縦と横が確り繋がり、目標に向かっていけたらさらに良いと思います。

参加できたことに感謝すると共に、さらに研鑽を積み、信頼される福祉職員として成長していきたいと思えます。

(佐藤浩)

**知恵の輪**

**障害者虐待防止法の制定**

平成23年6月17日制定され、平成24年10月1日より施行されます。  
 この法律は、障害者の尊厳を守り、自立及び社会参加を推進する為に虐待を禁止するとともに、予防と早期発見の取組みを国や国民等に求め、擁護者に対する支援措置を講じる等のためとされています。  
 防止法は虐待を家庭内に限らず、福祉施設職員や職場の上司等による虐待も指すと定義し、国と地方自治体に早期発見を求めた内容となっています。  
 さらに、発見者においては市町村に通報(義務)しなければならないと規定し、市町村は家庭への立入りや調査や保護が出来ることとされてもいます。  
 ※虐待対応の窓口として、「市町村障害者虐待防止センター」や「都道府県障害者権利擁護センター」の設置(部局・施設に置く事も可能)を自治体へ義務付。

☆印刷班作品紹介☆



印刷班では、お好きなデザインで、各種「のぼり」を作る事が出来ます。  
 イベント、即売会、お店、スポーツ応援等々に、是非お使い下さい。  
 価格は単色1枚2千円からお作りします。(枚数により、価格は変動有・製版代は別途)  
 詳細・ご注文は、おにしか更生園印刷班担当：田畑までご連絡下さい。

【編集後記】

3・11以来、日々の生活が普段通り普通に出来ることのありがたさを感じます。  
 何の不自由も無く、生活そして、仕事が出来る事に機関紙担当一同感謝!  
 (野原・草薙・竹島・丸田)